



【先週 7月3日～7月9日の外食の出来事】

■あみやき亭の4～6月期、純利益11%増 営業黒字に転換

2022年4～6月期の連結決算は純利益が前年同期比11%増の7100万円だった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出制限や営業時間の短縮が緩和され、増益となった。営業損益は2800万円の黒字となった。

■ハイデ日高単独、税引き利益6倍 3～5月、客足戻る

2022年3～5月期の単独決算は、税引き利益が前年同期比6倍の4億7100万円。まん延防止等重点措置が解除され、客足や酒類の需要が戻った。コロナ感染対策の助成金収入などを営業外収益に計上し最終黒字となった。

■「220円」皿4割に拡大 くら寿司、高価格すし強化

くら寿司は6日、1皿220円と高価格帯に位置付けるすしメニューの構成比を、従来の3割から4割に引き上げると発表した。出来立てや大振りのネタといった付加価値の高いすし計19種類を、8日から定番メニューに投入する。

■カルラ、第1四半期(2022年3月～5月)の連結業績

2023年2月期 第1四半期(2022年3月～5月)の連結業績を発表。売上高14億3300万円(-)、営業損失2800万円(-)、経常利益800万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円(-)であった。

■銚子丸 22年5月期(21年5月16日～22年5月15日)の業績

2022年5月期 通期の業績を発表。売上高170億3300万円(対前年同期比4.3%減)、営業利益2億2700万円(同62.3%減)、経常利益16億7800万円(同94.1%増)、当期純利益10億5700万円(同178.9%増)であった。

■壺番屋、第1四半期(2022年3月～5月)の連結業績

2023年2月期 第1四半期の連結業績は売上高112億8700万円(対前年同期比2.0%増)、営業利益5億2800万円(同22.8%減)、経常利益7億800万円(同37.8%減)、四半期純利益4億3400万円(同65.4%減)であった。

■世界一の朝食「bills」、ハワイを清算 日本企業は次々と撤退

PR会社の株式会社サニーサイドアップグループが、ハワイでオールデイダイニング「bills」を運営していた子会社を清算する。同社は世界展開を諦めた。国内では現在、東京・神奈川・大阪・福岡で8店舗を継続運営している。

■鮎忠、小田原の老舗鰻店を子会社化 “鰻の鮎忠”の評価高める

うなぎ・焼き鳥店を展開する株式会社鮎忠が、創業152年の老舗料理店「小田原柏又」を運営する有限会社柏又を、株式譲渡により1日付けで100%子会社化。作家の菊池寛や小野佐世男など、多くの著名人に愛されてきた。

■海帆、上場廃止銘柄から解除

株式会社海帆が、2022年3月期において債務超過を解消したことにより、上場廃止猶予期間入り銘柄から解除。3月に第三者割当増資を実施し13億70百万円を調達して、純資産は4億49百万円となり債務超過は解消した。